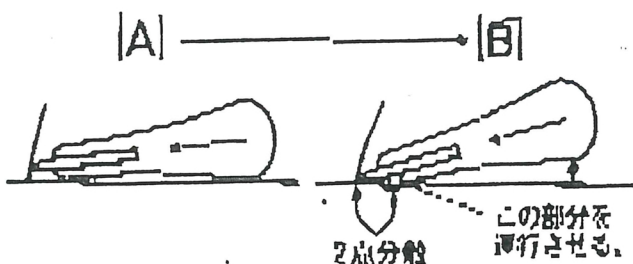


ヒゲラットの剃り方

基本

- ホルダーを対皮角度 0° (図A)になる迄一度寝かせ、刃が皮膚に着く迄起こして(図B)剃る (女性のウブ毛も同じ)。力が2点分散され、刃当りがソフトになり、痛くなく、血が噴きにくい。



- 深剃りはホルダーの角度 ($0^{\circ} \sim 15^{\circ}$)を保ち、左手でヒゲを起こし(毛穴からヒゲを引き出す)指の下へホルダーを滑り込ませるように指の近く(1cm以内)を剃れば自然と深剃りになる。
- 鼻・耳・襟つけ等は従来通り起こして剃って下さい。

※基本・応用共、ホルダーはグラつかない程度に握り (対皮角度が安定する) 刃ではなく、刃を挟んでいるホルダーの先端 (図B) で皮膚をマッサージする感覚で運行させる。

応用

- 硬くて、濃いヒゲを痛くなく剃るには、ヒゲの圧力に負けないように、ホルダーを運行させる。
- 烏肌(袋ヒゲ)又は、皮膚の弱い方は出来るだけ対皮角度 0° に近い状態 (図A)でホルダーを運行させる。

(注)

フタのバネ部の下に石鹸カスが乾いて詰まるとバネが利かなくなり、フタがゆるんで落ちる事があります。その時は石鹸カスを取り除いてバネ部を指で押し下げれば再度カチッと閉まります。

消毒法

○	煮沸消毒
○	エタノール消毒
×・△	次亜塩素酸ナトリウム消毒

※次亜塩素酸ナトリウム消毒は長期使用で腐蝕による破損の原因になりますので避けて下さい。